



令和2年度 環境研究総合推進費 オンラインシンポジウム  
 ～環境科学会2020年会 学術賞受賞記念シンポジウムと合同開催～

# わが国における 食品ロスの実態と 環境・経済・社会への影響

参加費  
**無料**



*Food  
 loss*



令和2年 **9.19** (土)

13:30 - 16:00

事前申し込みが必要です。

※環境科学会2020年会の参加登録がない場合でも参加可能です。

オンライン配信開催\*

事前にZOOMアプリのインストールを推奨します。

※ZOOMウェビナーによる配信

わが国では、年間600万トン以上の食品ロスが発生しており、食品ロスを2030年度までに、2000年度から半減させることが目標とされています。

本シンポジウムでは、わが国の食品ロス発生の実態の解明と環境・経済・社会に及ぼす影響について、これまで得られた知見を報告するとともに、研究者、行政、食品関連事業者の各々の立場から、食品ロス削減に向けた取り組みと課題を提起し、参加者の皆様に食品ロス削減への理解と関心を深めていただく機会を提供します。

# Program

13:30 - 13:35	開会挨拶
13:35 - 13:40	環境科学学会会長挨拶 ・藤江 幸一（公益社団法人 環境科学学会 会長／環境研究推進委員会 委員）
■ 講演 [司会] 増井 利彦（国立環境研究所 社会環境システム研究センター 統合環境経済研究室 室長）	
13:40 - 14:00	環境省における食品ロス対策について ・和田 直樹（環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室 室長補佐）
14:00 - 14:25	SDGs12.3 指標の提案に向けた食品ロスの実態の解明「環境研究総合推進費 3-1805」 ・山川 肇（京都府立大学 大学院 教授）
14:25 - 14:50	我が国の食品ロス削減による環境・経済・社会への影響評価に関する研究「環境研究総合推進費 3-1903」 ・棟居 洋介（東京工業大学 工学院 助教）
14:50 - 15:10	イオンの食品廃棄物削減の取り組み ・鈴木 隆博（イオン株式会社 環境・社会貢献部 部長）
15:10 - 15:15	休憩
■ 総合討論	
15:15 - 15:55	食品ロスの削減に向けた課題について ・モデレーター 田崎 智宏（国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 循環型社会システム研究室 室長） ・パネリスト 鈴木 隆博（イオン株式会社 環境・社会貢献部 部長） 棟居 洋介（東京工業大学 工学院 助教） 山川 肇（京都府立大学 大学院 教授） 和田 直樹（環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室 室長補佐）
15:55 - 16:00	閉会挨拶

※状況により、報告時刻が前後する可能性がありますので、ご注意ください。

## Profile

Food loss

### 藤江 幸一 Koichi Fujie

公益社団法人 環境科学学会 会長  
環境研究推進委員会 委員

2017年3月横浜国立大学を定年退職。現在、同大・先端科学高等研究院 客員教授、環境研究推進委員会 委員、JST 社会技術研究開発センター・プログラムアドバイザー等。

### 鈴木 隆博 Takahiro Suzuki

イオン株式会社  
環境・社会貢献部 部長

イオン株式会社に入社後、秘書室、業務提携、新規事業の立ち上げ等に携わる。環境省出向を経て、「イオン脱炭素ビジョン2050」をはじめとするイオングループの中長期環境戦略の策定及び推進等に従事。

### 田崎 智宏 Tomohiro Tasaki

国立研究開発法人 国立環境研究所  
資源循環・廃棄物研究センター  
循環型社会システム研究室 室長

横浜国立大学大学院にて博士（学術）取得。専門はシステム学と政策科学。リサイクル制度や資源循環のモデル研究等を手がけ、環境省中央環境審議会委員等を歴任。

### 増井 利彦 Toshihiko Masui

国立研究開発法人 国立環境研究所  
社会環境システム研究センター  
統合環境経済研究室 室長

1997年大阪大学大学院工学研究科 博士後期課程修了。博士（工学）。専門は統合評価モデルAIMの開発とそれを用いた気候変動政策の定量分析。2000年から東京工業大学連携教員。IPCC WG3 AR6 執筆者。

### 棟居 洋介 Yosuke Munesue

東京工業大学  
工学院 助教

1998年東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻修士課程修了。食料と環境・経済・社会との関係について、持続可能性の視点からシナリオを用いた長期的な評価を行ってきた。

### 山川 肇 Hajime Yamakawa

京都府立大学  
大学院 教授

2001年京都大学大学院工学研究科にて博士（工学）取得。2015年より現職。専門は循環型社会論。ごみ有料化、EPR政策や食品・容器包装等のリデュース・リユース行動を主に研究。

### 和田 直樹 Naoki Wada

環境省  
環境再生・資源循環局  
総務課 リサイクル推進室 室長補佐

2012年大阪大学大学院環境・エネルギー工学専攻にて博士（環境工学）取得。同年環境省入省。化学物質対策、下水汚泥有効利用、除染等の担当を経て、2019年1月より食品ロス・リサイクルを担当。

参加申し込み先

[https://krs.bz/erca/m/symposium\\_r2](https://krs.bz/erca/m/symposium_r2)

[締め切り] 9月16日(水) ただし、定員(500名)に達し次第、締め切ります。



●お問い合わせ先